

平成 2 1 年 度 再 評 価 対 象 事 業 一 覧

再評価対象事業の該当条件

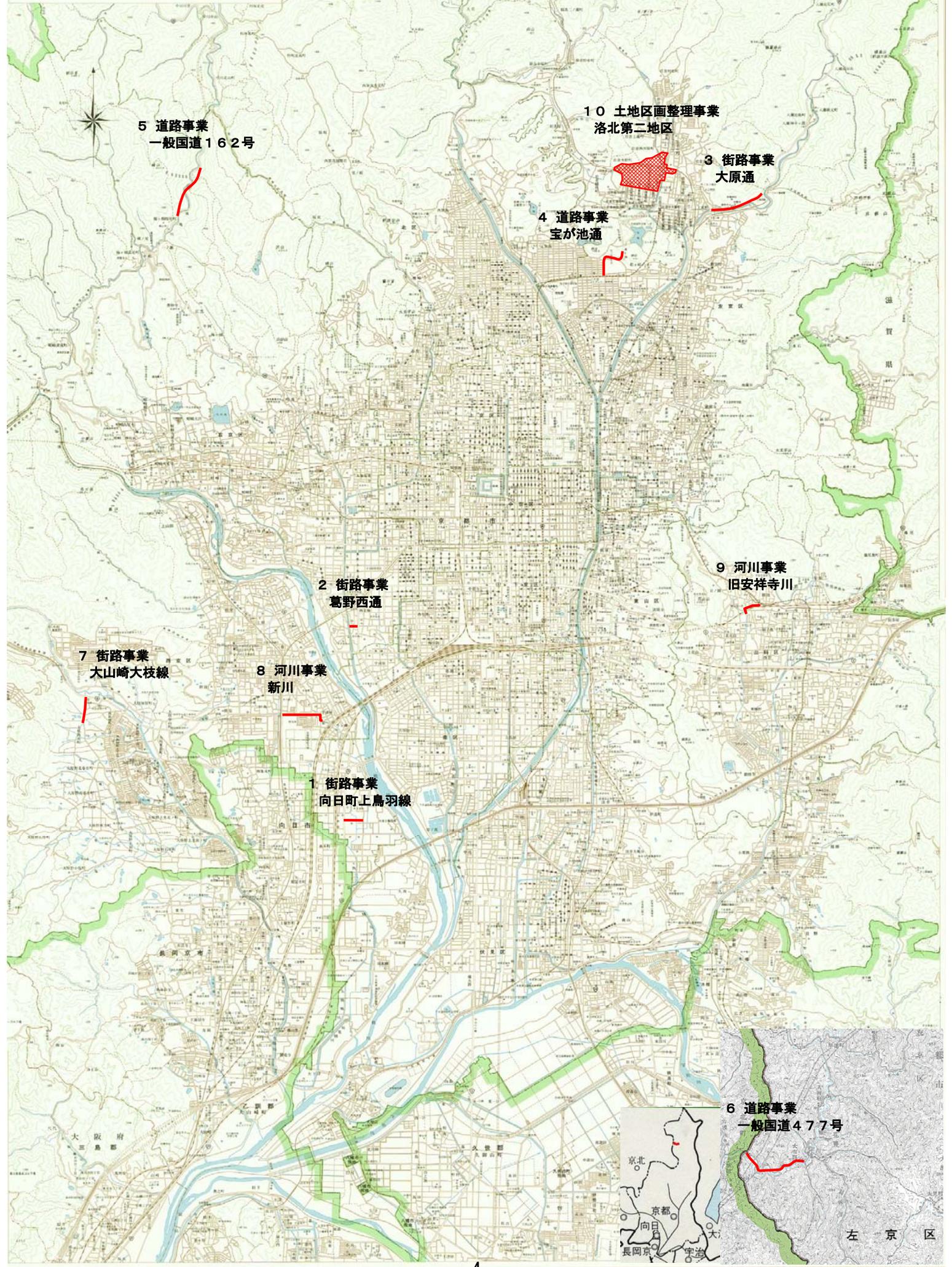
- ① 事業採択後 5 年間を経過した時点で未着工の事業
 ② 事業採択後 10 年間（環境衛生施設整備事業については 5 年間）を経過した時点で継続中の事業
 ③ 再評価の実施後 5 年間を経過した時点で継続中の事業
 ④ 社会経済情勢の急激な変化，技術革新等により再評価を実施することが必要であると認められる事業

種別	番号	補単*	事業名	事業概要	採択年度	該当条件	経過年数**	進捗率 (%)		備考
								(H23. 3)	(再評価時)	
街路事業	1	補	向日町上鳥羽線 (第一工区)	延長 L=395m 幅員 W=22.0m	H1	③	23	99.0	99.0	
	2	単	葛野西通	延長 L=177m 幅員 W=16.0m	H2	③	22	100.0	99.7	
	3	単	大原通	延長 L=1,114m 幅員 W=12.0m	S59	③	28	100.0	100.0	
道路事業	4	単	宝が池通	延長 L=870m 幅員 W=11.0~16.5m	H15 (S55)	③	9 (32)	99.5	90.0	
	5	補	一般国道 162 号 (川東拡幅)	延長 L=2,150m 幅員 W=7.5m	H12	②	12	44.3	46.0	
	6	補	一般国道 477 号 (大布施拡幅)	延長 L=2,195m 幅員 W=9.0m	H2	③	22	72.5	72.5	
	7	補	(主)大山崎大枝線 (沓掛 I 工区)	延長 L=520m 幅員 W=23.75m	H12	②	12	82.1	83.3	
河川事業	8	補	旧安祥寺川	延長 L=400m	H2	③	22	20.0	12.0	
	9	補	新川	延長 L=890m	H7	③	17	60.9	53.8	
整地区画 土地区画 事業	10	単	洛北第二地区	公共施設の整備改善及び 宅地の利用増進を図る。	S53	③	34	98.5	97.8	

* 「補」は国庫補助事業，「単」は京都市単独事業を示す。

** 経過年数は平成 23 年度における年数を示す。

京都市街図 平成21年度 再評価対象事業箇所図



平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	街路事業 向日町上鳥羽線（第一工区）		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市南区久世殿城町 至：京都市南区久世大藪町		延長及び幅員	延長L=395m 幅員W=22m
事業採択年度	平成元年度	完成予定年度	当初：平成5年度 変更：平成23年度（事業認可最終年度）	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 395m C= 253百万円	L= 365m C= 234百万円		
用地	A= 7,568 m ² C= 2,479百万円	A= 7,568 m ² C= 2,479百万円		
その他	C= 324百万円	C= 312百万円		
計	C= 3,056百万円	C= 3,025百万円		
進捗率	99.0 % 【平成21年度再評価時】	99.0%		
平成21年度再評価時点での課題，問題点				
<ul style="list-style-type: none"> ・第一工区は平成14年度に道路築造工事がほぼ完成し，平成15年度から暫定供用を行っている。 ・本事業区間（第一工区）は，第二工区と合わせ，全線（国道171号から葛野大路通間）供用を予定しており，第二工区の整備促進向上に向け用地買収，工事を進める必要がある。 				
平成22年度 of 取組				
<ul style="list-style-type: none"> ・国道171号との交差点協議を行う。 				
平成23年度以降 of 取組				
<p>当面の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工区については，隣接する第二工区の整備に合わせ，全線供用のため警察協議を行う。 ・引き続き全線供用に向け，第二工区の用地買収，工事を進める。 <p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道171号久世橋付近の交通渋滞の解消を図り，本市南西部地域の東西幹線道路として安全で円滑な道路交通の確保を図る。 				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	街路事業 葛野西通		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市右京区西京極堤外町 至：京都市右京区西京極南方町		延長及び幅員	延長L=177m 幅員W=16m
事業採択年度	平成2年度	完成予定年度	平成22年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 177m C= 82百万円	L= 177m C= 82百万円		
用地	A= 1,445 m ² C= 1,604百万円	A= 1,445 m ² C= 1,604百万円		
その他	測量, 設計委託等 C= 69百万円	測量, 設計委託等 C= 69百万円		
計	C= 1,755百万円	C= 1,755百万円		
進捗率	99.7% 【平成21年度再評価時】	100%		
平成21年度再評価時点での課題, 問題点				
<p>平成20年度に用地買収及び埋蔵文化財調査が完了したことから、平成21年度に工事着手し、平成22年度に道路法手続きを行い、事業を完了させる。</p>				
平成22年度 of 取組				
<p>工事が完了し、平成22年5月に供用を開始した。</p>				
平成23年度以降 of 取組				
<p>事業効果</p> <p>周辺地域の安全で円滑な道路交通の確保及び阪急西京極駅へのアクセスが向上した。</p> <p>また、市民のスポーツ振興の中心である西京極総合運動公園へのアクセスも向上し、市民の健康的な都市生活の向上に寄与した。</p>				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	街路事業 大原通		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市左京区上高野北川原町（三宅橋） 至：京都市左京区八瀬野瀬町（旧八瀬遊園前）		延長及び幅員	延長L＝1,114m 幅員W＝12m
事業採択年度	昭和59年度	完成予定年度	平成21年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L＝1,114m C＝807百万円	L＝1,114m C＝807百万円		
用地	A＝7,139 m ² C＝1,901百万円	A＝7,139 m ² C＝1,901百万円		
その他	C＝215百万円	C＝215百万円		
計	C＝2,923百万円	C＝2,923百万円		
進捗率	100% 【平成21年度再評価時】	100%		
平成21年度再評価時点での課題，問題点				
<p>用地買収が既に完了しており，平成21年度内の事業完了に向けて事業を進める。</p>				
平成22年度の取組				
<p>平成21年10月30日に工事が完了した。</p>				
平成23年度以降の取組				
<p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道と十分な幅員の車道を整備することにより，歩行者の安全な通行と安全で円滑な道路交通の確保が図られた。 				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	道路事業 宝が池通		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：狐坂 至：北山通		延長及び幅員	延長 L=870 m 幅員 W=11.0 m 狐坂工区 16.5 m 北山工区
事業採択年度	当初：昭和55年度 変更：平成15年度		完成予定年度	当初：平成19年度 変更：平成23年度 (狐坂工区は18年度完成)
事業進捗			箇所図	
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 870 m C= 1,249 百万円	L= 870 m C= 1,249 百万円		
用地	A= 580 m ² C= 121 百万円	A= 580 m ² C= 121 百万円		
その他	C= 183 百万円	C= 176 百万円		
計	C= 1,553 百万円	C= 1,546 百万円		
進捗率	90.0 % 【平成21年度再評価時】	99.5 %		
平成21年度再評価時点での課題，問題点				
<p>本事業は，市中心部と岩倉地区をはじめとする本市北部地域を結ぶだけでなく国立京都国際会館や宝が池公園へのアクセス道路ともなっている幹線道路であり，急勾配やヘアピンカーブの箇所の改善及び歩道整備により車両や歩行者などの安全確保を図るものである。</p> <p>今後は，関連事業である無電柱化事業の事業進ちょくを図り，残事業の早期完成に努める。</p>				
平成22年度 of 取組				
無電柱化工事及び歩道整備を実施した。				
平成23年度以降 of 取組				
<ul style="list-style-type: none"> ・当面の目標 道路の区域変更手続きを行う。 ・事業効果 本路線は，京都市中心部と岩倉地域とを結ぶ重要な道路であり，急勾配やヘアピンカーブの箇所の改善及び歩道整備により車両や歩行者などの安全確保を図る。また，無電柱化工事により，自転車や歩行者の安全な通行を確保する。 ・発現年度 平成22年度 				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	道路事業 一般国道162号(川東拡幅)		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市右京区梅ヶ畑川西町 至：京都市右京区梅ヶ畑川東		延長及び幅員	延長L= 2,150m 幅員W= 7.5m
事業採択年度	平成12年度	完成予定年度	平成29年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 2,150m C= 6,865百万円	L= 850m C= 2,984百万円		
用地	A= 19,714㎡ C= 255百万円	A= 8,652㎡ C= 59百万円		
その他	C= 351百万円	C= 269百万円		
計	C= 7,471百万円	C= 3,312百万円		
進捗率	46.0% 【平成21年度再評価時】	44.3%		
平成21年度再評価時点での課題、問題点				
<p>第1工区(延長850m)は、平成20年3月に完成しており、供用を開始している。引き続き第2工区の整備を行うことにより、現状の幅員狭小、線形不良を解消し、市街地と右京区京北を結ぶ道路として、災害時や緊急時の円滑なアクセスを確保する。</p>				
平成22年度の実績				
<p>用地測量及び用地買収を行った。 買収予定面積：13,982.93㎡ 買収済面積：3,208.81㎡</p>				
平成23年度以降の実績				
<p>当面の目標 事業は計画どおり進捗しており、引き続き第二工区の完成を目指す。</p>				
<p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地と右京区京北を結ぶ道路として、幅員狭小、線形不良を解消し、災害時や緊急時の安全で円滑な道路交通を確保する。 農林業の維持発展、観光施設への支援、京北地域へのアクセス性の向上、現在事業中の栗尾バイパスと合わせて広域ネットワークの形成を図る。 				
<p>発現年度 平成29年度</p>				

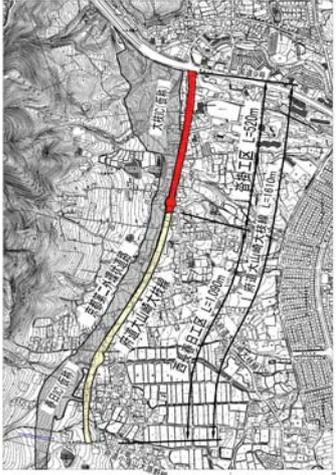
平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	道路事業 一般国道477号(大布施拡幅)		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市左京区花脊大布施町 至：京都市左京区花脊大布施町		延長及び幅員	延長L= 2, 195 m 幅員W= 9. 0 m
事業採択年度	平成2年度	完成予定年度	当初：平成11年度 変更：平成26年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 2,195m C= 3,818百万円	L= 1,585m C= 2,673百万円		
用地	A= 24,900 m ² C= 235百万円	A= 23,700 m ² C= 228百万円		
その他	C= 147百万円	C= 142百万円		
計	C= 4,200百万円	C= 3,043百万円		
進捗率	72.5% 【平成21年度再評価時】	72.5%		
平成21年度再評価時点での課題，問題点				
<p>本路線の整備により，花脊地区と京北地域を結ぶ日常的な通行の安全・安定性の確保や，災害時や緊急時に強い道づくりが推進され，また，大阪・京都・滋賀の連絡強化と北部地域を連携する道路のネットワークが形成されるが，補助事業の予算枠が伸びず，また，本市財政が逼迫しているなどの理由から本事業に対する予算投入に制限があり進捗を図れない。</p>				
平成22年度 of 取組				
<ul style="list-style-type: none"> ・舗装工事等の実施。 ・9月13日から大布施トンネルを含む区間（L=635m）の部分供用を開始した。 				
平成23年度以降 of 取組				
<p>当面の目標 未買収用地の取得</p> <p>事業効果 幅員狭小及び線形不良区間を解消し，安全で円滑な道路交通の確保と沿道の地域づくりを支援する。</p> <p>発現年度 平成26年度</p>				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	道路事業 主要府道 大山崎大枝線(沓掛工区)		事業所管課	建設局事業推進室
事業区間	自：京都市西京区大枝沓掛町 至：京都市西京区大枝西長町		延長及び幅員	延長L= 520m 幅員W= 23.75m
事業採択年度	平成12年度	完成予定年度	平成24年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 520m C= 1,043百万円	L= 163m C= 327百万円		
用地	A= 12,169 m ² C= 2,957百万円	A= 12,169 m ² C= 2,957百万円		
その他	C= 0百万円	C= 0百万円		
計	C= 4,000百万円	C= 3,284百万円		
進捗率	83.3 % 【平成21年度再評価時】	82.1%		
<p>平成21年度再評価時点での課題、問題点 住民とのパートナーシップと環境・景観に更なる配慮が必要である。 また、本路線は、平成24年度完成予定の京都第二外環状道路の連絡道路としての役割を担うことから、京都第二外環状道路と整合した工程で進める必要があるため、本事業は平成24年度に完成させる。</p>				
<p>平成22年度を取組 本工区は現道を東側へ拡幅するものであるが、平成22年度は、平成23年6月に走行車線が西側車線から東側車線へ切替えが出来るよう、東側の現道拡幅工事を行った。</p>				
<p>平成23年度以降を取組 当面の目標 本路線は、平成24年度完成予定の京都第二外環状道路の連絡道路としての役割を担うことから、京都第二外環状道路と整合した工程で進める必要があるため、今年度も引き続き、平成24年度の完成に向け鋭意施工を行う。 また、道路植栽や自転車道については、住民と協議をし、住民の意見を取り入れながらパートナーシップを図り、環境・景観に配慮しつつ決めていく。</p> <p>事業効果 本路線を整備することにより、通過目的の交通を京都第二外環状道路に転換し、地域交通の円滑化と安全性を向上させ地域の活性化を図る。</p> <p>発現年度 平成24年度</p>				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	河川事業 旧安祥寺川		事業所管課	建設局水と緑環境部 河川整備課
事業区間	自:京都市山科区御陵久保町 至:京都市山科区御陵荒巻町		延長及び幅員	延長L = 400m
事業採択年度	平成2年度	完成予定年度	当初:平成9年度 変更:平成30年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 400m C= 3,752 百万円	L= 0m C= 337 百万円		
用地	A= 2,069 m ² C= 283 百万円	A= 2,053 m ² C= 260 百万円		
その他	C= 293 百万円	C= 268 百万円		
計	C= 4,328 百万円	C= 865 百万円		
進捗率	12.0% 【平成21年度再評価時】	20.0%		
<p>平成21年度再評価時点での課題, 問題点</p> <p>度重なる浸水被害を解消すべく, 旧安祥寺川を早期に改修する必要があることから「事業継続」は妥当であるとの判断をいただいた。 今後は, 当事業に予算を集中投資し, 当該河川流域の早期の治水効果発現を目指すこととしている。</p>				
<p>平成22年度の取組</p> <p>平成21年度に, 本市とJR西日本との基本協定が市会において承認されたことにより, 工事委託契約を締結するにいたった。 平成22年度には, JR西日本と請負業者で請負契約が締結され, 工事中進入路等の仮設工を行った。</p>				
<p>平成23年度以降の取組</p> <p>当面の目標 平成26年度までにJR横断部の工事を完了させる。JR横断部の工事完了後, 引き続きJR並行部等の工事に着手する。</p> <p>事業効果 旧安祥寺川の氾濫を防ぎ, 流域の治水安全度を高める。</p> <p>発現年度 平成30年度</p>				

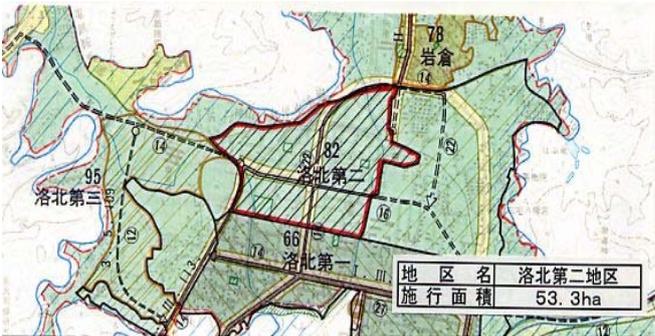
平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	河川事業 新川		事業所管課	建設局水と緑環境部 河川整備課
事業区間	自：京都市西京区下津林前泓町 至：京都市西京区川島延田町		延長及び幅員	延長L = 890m 幅員W = 6m
事業採択年度	平成7年度	完成予定年度	平成30年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	L= 890m C= 3,043 百万円	L= 428m C= 1,400 百万円		
用地	A= 1,108 m ² C= 875 百万円	A= 1,108 m ² C= 875 百万円		
その他	C= 390 百万円	C= 350 百万円		
計	C= 4,308 百万円	C= 2,625 百万円		
進捗率	53.8% 【平成21年度再評価時】	60.9%		
<p>平成21年度再評価時点での課題、問題点</p> <p>流域の浸水防除を推進するため、今後、下水道事業と連携した事業進捗を図る必要があることから「事業継続」は妥当と判断いただいた。 工事を進めるにあたっては、地下水位の観測、地下水質の監視を常に行い、地下水に影響が出ないように配慮する必要がある。</p>				
<p>平成22年度取組</p> <p>工事の影響を監視するための地下水調査を継続して実施している。 平成21年度から引き続き水掛橋下流からの護岸工事と併せて、上流桂高校前の護岸工事に着手し、二方向からの施工を行うことにより、早期の事業完成を図っている。</p>				
<p>平成23年度以降取組</p> <p>当面の目標 水掛橋上流において整備が計画されている雨水幹線の接続箇所までの護岸を改修し、流域内の治水安全度のさらなる向上を目指す。</p> <p>事業効果 本事業に併せて整備が予定されている雨水幹線との相乗効果により、効率良く雨水を流下させられるため、流域内の浸水被害の軽減に寄与できる。</p> <p>発現年度 平成30年度</p>				

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成23年3月末)

事業名	土地区画整理事業 洛北第二地区		事業所管課	建設局都市整備部整備推進課
事業区間	京都市左京区岩倉忠在地町他		延長及び幅員	面積 A = 53.3 ha
事業採択年度	昭和53年度		完成予定年度	当初：昭和57年度 変更：平成23年度（事業認可最終年度）
事業進捗			箇所図	N △
年度	全体事業	平成22年度末		
工事	A= 53.3 ha C= 5,660 百万円	A= 53.3 ha C= 5,612 百万円		
用地	A= m ² C= 百万円	A= m ² C= 百万円		
その他	C= 1,812 百万円	C= 1,745 百万円		
計	C= 7,472 百万円	C= 7,357 百万円		
進捗率 (仮換地 指定率)	97.8 % (100.0 %) 【平成21年度再評価時】	98.5 % (100.0 %)		
<p>平成21年度再評価時点での課題，問題点</p> <p>(1) 宝池通の整備工事を実施するとともに，換地計画の策定等換地処分に向けた取組みを行い，早期の事業完了を目指す。</p> <p>(2) 再評価委員会においては，「平成20年度において仮換地指定率は100%に達し，また，平成21年度末には道路築造率も100%に達する予定であり，事業としては最終段階にあることから事業継続は妥当であると判断した。」という意見をいただいた。</p>				
<p>平成22年度 of 取組</p> <p>地区全域の出来形確認測量の一部を実施した。</p>				
<p>平成23年度以降の取組</p> <p>当面の目標</p> <p>地区全域の出来形確認測量成果を踏まえた，換地計画の策定及び換地処分。</p> <p>事業効果</p> <p>道路，水路，公園等公共施設の整備により良好なる宅地化が進み，今後ますます地域の発展が期待できる。</p>				